

中日作文に見られる母語の影響

顧偉坤（上海外国語大学） 中野洋（国立国語研究所）

1. はじめに

昨年、日本人の中国語作文の調査をしたが、語彙、構文、文法、表記などに問題が見つかった。それらの問題には学習者の勉強不足による問題と語学知識の問題、常識の問題、それから母語の干渉・文化の影響による問題などがある。本報告では、中日学生の書いた作文（中国語の作文は日本人学生が、日本語作文は中国人学生が書いた）における母語の影響による誤りについて、特に中国語作文と日本語作文に共通して見られる点をまとめて分析した。

2. 母語の影響による問題の共通点

母語の影響による誤りの現象は中国語作文にも日本語作文にも見られるが、その誤りは同形異義語、共起する語と語の関係、テンスの相違、表現法の相違などによるものである。

2.1. 同形異義語

（中国語）

- (1)*关于中国的食习惯。
关于中国的饮食习惯。

「食习惯」の「食」は日本語では「食べる、食事、食べ物」などの意味がある。その影響か中国語を書く場合にそのまま「食习惯」を使ったため誤りとなった。中国語では「食」の意味は日本語よりせまく、動詞としては「食べる」だけの意味で、「食鱼」「食而不知其味」などと使われる。また、造語成分として「饮食」「面食」「肉食」のように使われている。

- (2)*与其在高等饭店吃饭。宁可在这儿吃。
与其在高级饭店吃饭。不如在这儿吃。

「高等」という言葉は日本語では「高等動物」「高等学校」「高等検察庁」のように程度（等級、品位）が高い様を表す。中国語では「高等数学」「高等教育」など同様な語があるが、等級の高さを表す場合は「高級」を使う。例えば、「高级人民法院」「高级干部」

「高级厨师」などである。

- (3)*你是勇敢的人。所以你一定有救济国民的力量。

你是勇敢的人。所以一定能拯救国民。

「救济」は日本語には同様の語があり「救济事業」「难民救济」の「救济」と同じ意味で、

つまり広義の「人を救う」ということである。しかし、中国語の「救济」は日本語の意味と違って、「お金とか物質とかで人を助ける」という意味である。つまりその語の表す意味範囲が狭く一般に「救济生活困难者」「救济粮」「救济难民」のように使われる。それゆえ上記の文脈から見ると(3)は「救济」の意味でなく「拯救」の意味である。例えば、

拯救受苦受难的人。

这支医疗队在灾区拯救了许多生命。

などである。

- (4)*通过交换信。我们互相受到刺激。
通过信件来往。我们互相受到启发。

「刺激」は日本語の「刺激」とよく似ている。「人の心に強く感じさせる」という意味である。例えば、

何か刺激を与えて勉強させよう。

のように使われる。しかし、中国語ではその程度が日本語より強く、精神的にショックを受ける場合に使う。例えば、

多年的收藏毁于一旦。对他刺激很大。

你给他的刺激太大了。

(1)(2)(3)(4)の誤用語例は以上のように日本語にも同形語があるから、その影響を受けて誤ったのである。同様に中国人学生の日本語作文にもそういう現象もある。

（日本語）

- (5)*私はちゃんげん&アスカに征服された。
私はちゃんげん&アスカに魅了されてしまった。

- (6)*それは当時の特定の環境の下で生まれたので、
それは当時の特殊な環境の下で生まれたので、

(5)の「征服」は中国語においては日本語と同じ意味を表す場合もある。ところが、近頃では若者同士の間で誰かある選手或いは歌手のファンになった場合も「被~征服了」という使い方があから、そのまま日本語に使われたようである。(6)の「特定」も中国語では「特別指定されたこと・もの」のほか「ある人・時期・場所など」もあるから、「特定の環境」という表現になったと思う。

2.2. 語と語の関係

(中国語)

(7)* 船到阳朔的时候, 雨太激烈。

船到阳朔的时候, 雨下得太大了。

「激烈」は日本語の「激しい」の影響で直訳されたようである。それは「雨・気性・往来・変化」などの語と共起するが、中国語では「激烈」は主に「動作・言論」に使われる。

例えば、

他脸上很沉静, 可内心的斗争却很激烈。

他很注意措词, 尽量注意避免使用激烈的字眼。

のように「斗争・字眼」などと共起する。

(8)* 日本的气候变化比较剧烈。

日本的气候变化比较大。

(8)も(7)と同類のものである。

(9)* 没有她亲切的帮助, 这次旅游一定没有意思。

没有她热情的帮助, 这次旅游肯定没意思。

日本語では「親切」は形容動詞であとにくる動詞を修飾する。例えば、

他人にはできるだけ親切にしてあげましょう。

私はこんなに親切にされたことはない。

のように「暖かい気持ちで他の人のためになるようにつくす」という使い方である。しかし、中国語の「親切」は「老师亲切的教导」「亲切友好的谈话」のような組み合わせで話者の暖かい気持ちや関心を表している。具体的な動作を表す場合はあまり使わない。例えば、

佛教的思想在中国人的心里是非常熟悉、非常亲切的。

のようである。

(10)* 我受到大家的注目。

我引起了大家的注意。

日本語の「注目される・注目を集める」の影響で「受到～注目」にしたのだと思う。しかし、中国語ではそういう使い方はない。普通は

这个小县城当时成了注目的地方。

她这样穿着打扮, 太注目了。

のように使われる。

(日本語)

(11)* 現代中国は経済が高速に発展するにつれて、

現代中国は経済が急速に発展するにつれて、

(12)* 当面的急務は必ず作曲のレベルを高めなければ、

当面的急務は作曲のレベルを高めなければ、

(11)の「高速」は中国語にも同様の語があり、「高速公路」「高速发展」のような組み合わせで使われる。それは中国語の直訳のようである。(12)「必ず」は中国語では「一定」か「肯定」のように意志を表す語と組み合わせで使う。例えば、

我一定照办。

你明天一定要来啊!

2.3. テンスの相違

(中国語)

(13)* 我向阿姨感谢了然后上车。

我向阿姨道谢后上了车。

(14)* 我跟朋友一起去了杭州旅游。

我跟朋友一起去杭州旅游了。

(15)* 我看了在报纸上的一篇文章。

我看到报纸上的一篇文章。

(16)* 我输了她好几次。

我输给她好几次。

日本語では「過去」を表すのにほとんどの動詞の語尾に助動詞「た」がつく。例えば、

先生に会った。

生活は貧乏になった。

アメリカに旅行に行った。

の類である。しかし、中国語では「過去」を表す助詞「了」は動詞のあとにくる場合もあれば、文末につく場合もある。また文脈によって使わない場合もある。しかし、上の中国語の例はほとんどの述語動詞のあとに助詞「了」がついているので問題になる。

(日本語)

(17)* 流行歌が好きですが、研究することがありません。

流行歌が好きですが、研究したことがありません。

(我喜欢流行歌, 但是不曾研究过。)

(18)* 日本の歌を聞いた時は八歳ごろです。

日本の歌を聞いた時は八歳ごろでした。

(我听日本歌的时候, 是八岁左右。)

(19)* 子供まで歩きながら、愛の歌を歌っていた時代であった。

子供まで歩きながら、愛の歌を歌っている時代であった。

(那是连小孩都边走边唱爱情之歌的时

代。)

- (20) *ロックの歌手たちは、いつも大声あるいは怪しい声でさげぶのである。
ロックの歌手たちは、いつも大声あるいは怪しい声で叫んでいるのである。
(摇滚歌手们总是大声怪叫。)

中国語においては「テンス」を表す場合には上述のように「助詞」か「時を表す語」または文脈によるものが多い。つまり文法形式は日本語より曖昧である。そのため中国人は日本語の表現で間違いやすい。上の四つの元の中国語だと思われる文を見ると分かる。

2.4. 表現法の相違

(中国語)

- (21) * 我在中国除了课堂上以外的地方学到的东西也不少。
我在中国除了课堂，在其他地方也学到不少知识。
- (22) * 我觉得那样的奇景在桂林以外是看不到。
我觉得那样的奇景只有在桂林才能看到。
- (23) * 他们回国以后，不但没有吃的东西，而且没有住的地方。
他们回国以后，没有吃的，也没有住的。
- (24) * 我觉得上海变化很快的事是真的。
我觉得上海变得真快。

(21)の文は「～のほかに」という文型の影響を受けている。しかし、中国語の「除了～以外」のあとにくる様子は大体前のと反対のことである。例えば、

除了这间房以外，其他房间全亮着灯。

(22)も同様の表現を使っているが、文脈から見ると「～以外」を使わないほうが自然になる。(23)は「ばかりでなく」の影響で「～不但～而且」を使ったが中国語においては短文ではこの文型をあまり使わない。(24)は日本語の直訳のようである。

(日本語)

- (25) * 私はあまり歌うことができないので、私はあまり上手に歌うことができないので、
- (26) * 中国と外国はそれぞれの状況があって、中国と外国はそれぞれの環境が違うから、
中国語においては「我不太会唱歌」はつま

り文中に「唱不太好」の「好」の語が省略されたから、直訳すると(25)の表現になる。(26)では「それぞれの状況があって」の中国語は「有各自的情况」で、「有各自不同的情况」の省略である。それを直接日本語で表現すると意味が曖昧になる。

3. まとめ

2の「同形異義語」「語と語の関係」から分かるように中日両語には同形異義語が少なくない。例えば、「一行、大家、交換、刺激」など同形語には両語同義のものもあれば、異義のものもある。語学の勉強では注意を怠ると、母語に干渉されやすくなる。またその語の修飾関係を見おとすと、間違いやすくなる。

テンスでは、中国のテンスの表現(文法的表現)は日本語より曖昧で特に文法規則は複雑である。対象の言語のテンスの意識が薄い場合は母語に干渉されやすくなる。

文化による中日表現法も異なるが、「～ほかに」(あとにくるのが肯定の場合)は、「～だけでなく」の意味になるが、中国語の対応文型「除了～以外」は「～を除いて」の意味である。

以上は中国語の作文と日本語の作文にある母語の影響による誤用例を対照してみた。それらはいずれも語学における知識の問題である。今後ほかの領域の問題をも対照分析してまとめておけば、語学教育にも役に立つだろう。

参考文献

- 文化庁(1971)『外国人ための基本用語辞典』(大蔵省印刷局)
- 国立国語研究所(1978)『日本語の文法(上・下)』(大蔵省印刷局)
- 森田良行(1983)『日本語の表現』(創林社)
- 顧偉坤・中野洋(1997)「日本人留学生の中国語作文調査」(「国際社会における日本語についての総合研究」研究報告集、国立国語研究所)
- 中野洋・張建華他(1997)「中国人学生の日本語作文調査」(同上)
- 戴炜棟・束定芳(1994)『対比分析、錯誤分析和中介语研究中的若干问题』
- 王力(1983)《词类》(上海教育出版社)